

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30 ~ 13:30
例会場 刈谷市新栄町 3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL <0566>22-2111
FAX <0566>25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 加藤 哲也
幹事 久米 博明
会報委員長 鬼頭 一浩

2016 ~ 2017年度 国際ロータリー ジョン F. ジャーム 会長テーマ

Rotary serving humanity 人類に奉仕するロータリー

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2940回例会プログラム

[当年度 = 8 回目; 当月 = 1 週目]

2016年 (平成28年) 9月 7日(水)

服部良男ガバナー公式訪問

刈谷・知立 RC 合同例会……

〈司会: 知立 RC プログラム委員長 宗 保〉

12:28 ガバナー入場

- 12:30 1. 点 鐘
2. 開会宣言
3. 「君が代」「奉仕の理想」斉唱
4. ゲスト紹介
5. 歓迎の辞及び会長挨拶
食 事
6. 出席報告
7. ニコニコボックス報告

12:55 8. ガバナー紹介

- 13:00 9. ガバナー卓話
10. 謝 辞
11. 閉会宣言

13:30 12. 点 鐘

散 会



会長・幹事懇談会

ゲ ス ト

RI 第2760地区ガバナー 服部 良男 様
RI 第2760地区幹事 岩月 昭佳 様
RI 第2760地区事務長 加藤 博己 様
青少年交換学生 シェビラード・ランゼ・レネーさん

出 席

会員総数 93名 出席免除 24名
出席義務者+免除者の内例会出席者 79名
欠 席 19名 出席率 75.95%
前々回 (8/22) の修正出席率 100%

歓迎の辞及び会長あいさつ

服部良男ガバナー公式訪問

知立ロータリークラブ
高木 秀夫 会長



服部良男ガバナー様、
岩月地区幹事様、地区
事務長加藤様、ようこ
そいらっしました。
刈谷・知立クラブメン
バー一同、ご来訪を歓
迎いたします。服部ガ

バナーに於かれましては、公式訪問全32回の日程で本日が10回目ということでもあります。服部ガバナーは、西三河中分区のメンバーであり、私共と分区は違いますが、同じ西三河のお方ですので、皆、親近感を抱いております。本日の公式訪問、宜しく願ひいたします。

さて、折角ですので知立 RC の運動方針を紹介させていただきます。テーマは、「奉仕活動を通じ、公共イメージを高めよう」であります。一見ありきたりのように思えますが、今自分達が行っている多くの奉仕活動が、地域住民に伝わっているのか疑問です。決して伝わっていないと思います。ましてや他の RC クラブが行っている奉仕活動も RC メンバーでありながら承知していないのが現状ではないでしょうか。

思うに、RC の事業実績を仮に知っている人がいてもそれは一部の例えば、諸団体の役員に限られているのではと思います。もったいないことだと思います。事業の実績が広く知られないだけでなく、次につながらないと思います。それは、メンバーの拡大であります。そのためには、RC が行う素晴らしい多くの奉仕活動と実績を広く世間に知っていただくことが重要であります。もっとうまく PR せねばならないと考えています。

財団100周年を迎える今、転機がきていると思います。その手法については、本年3月、服部ガバナーが行われた“ペット”で私は、再認識させていただきました。詳細につきましては、本日の卓話の中で服部ガバナーより、お話がいただけると思います。本日は、若いメンバーの方も多く見えますので、再度 RC を理解し、RC の良さを再認識していただければと思います。以上で私の挨拶とさせていただきます。

そうでした、ホテルのカーペットを新しくしていただいたとのことです。只今から皆様には、お食事をとっていただきますが、カーペットを“新調”したとのことです。食べ物等床にこぼさないよう“慎重”にお召し上がりください。

本日の合同例会、宜しく願ひいたします。

ガバナー紹介



加藤 哲也 会長

卓 話

RI 第2760地区ガバナー 服部 良男 様



皆さん、こんにちは。只今、ご紹介頂きました今年度2760地区のガバナーを務めております服部良男でございます。先程ご紹介頂きました通り、岡崎 RC に所属しております。刈谷 RC さん、知立 RC さんには、近いということもあり大変親近感を

感じておりますし、本日は楽しみにして参りました。よろしく願ひします。伝統ある刈谷 RC さんは、ここにみえます野村パストガバナーをはじめ多くの方々が地区で活躍されています。知立 RC さんは、近藤ガバナー補佐を中心に我々のチームで頑張っておりまして、ありがとうございます。

今年度のジョン F・ジャーム RI 会長は、ロータリー歴40年のアメリカ人で、ポリオプラスの委員長でもあり、財団に貢献された方でいらっしゃいます。インターナショナルの委員長もずっとやっていらっしゃいました。ビル・ゲイツ財団とのマッチングもジョン F・ジャームさんが仕掛けられたと言われております。久しぶりにアメリカから RI の会長が出たということで、来年アトランタで世界大会が行われます。今年度は財団100周年も祝うという事で、アメリカは大変盛り上がりしております。当地区は RI 斎藤理事から大勢の参加を呼びかけられておりますので、是非よろしく願ひします。

そのジョン F・ジャーム RI 会長は、Rotary Serving Humanity ～人類に奉仕するロータリー～をテーマに掲げられました。そして、「RI 財団100周年をお祝いしましょう。ポリオ撲滅を是非よろしく願ひします。」と言われております。それ以外に、我々ガバナーに地区に帰って各クラブでも RI 財団100周年を祝うようお話しされました。

さて、Rotary Serving Humanity を日本語に訳すと「人類に奉仕するロータリー」という意味ですが、私はこのテーマを大変すばらしいと感じました。ロータリーは人々に奉仕し続ける。すなわち Service ではなくて Serving ということは絶え間なくする、ロータリアンは毎日奉仕活動をしましょう。困っている人がいたらその人を笑顔にしましょう。ということが「Rotary Serving Humanity」の中に隠されているメッセージではないかと思っております。

ジョン F・ジャーム RI 会長は、「ロータリアンは、困っている人がいたら、背を向けず、自分のできることをして下さい。それが奉仕で、その結果人が笑顔になること、そして仲間のロータリアンとその奉仕の輪を広げること、それがロータリーです。」と伝えたいのではないかと私は思っています。

次に、RI の抱えている課題と、RI がやろうとしていることについて説明します。今世界には123万人ロータリーの会員がいます。会員数はおおよそ横ばいですが、

先進国の会員は20年の間に2割から3割減少しています。アメリカ、イギリス、そしてオーストラリア、日本も減少しています。日本は13万人いた会員が8万8千人です。先進国ではドイツを除いて全て減少しております。次の100年を見据えると、RIの理事は会員の減少が止まらなるとロータリーは危機を迎えるのではないかと考えています。そこで考えられたのがブランドマーケティングです。RIが考えた戦略です。ブランドマーケティングとは、我々が持っている組織の強みや価値を見直し、再認識し、共有する。そして会員全員でそこからServiceを作り上げる、何かを作り上げる。その出来たServiceをマーケティングすることです。これをRIは戦略的計画と呼んでいます。

そのブランドとは何か。1つ目はFellowship、親睦です。Fellowとは同じ目的を持った仲間の事で、Shipはその関係を維持し、仲間を続けていくという事です。2つ目は、Integrity、高潔性・倫理性で、ロータリーの原点であり、DNAです。3つ目は、Diversity、多様性です。ロータリーは許容と多様性の中で、同じ目的に向かって111年間歩み続けています。4つ目はLeadershipです。ロータリーでのリーダーはビジョンを実現でき、リーダーであり続けることに加え、ロータリー活動を通じてLeadershipを更に養っていくことです。これがブランドです。この4つのブランドはロータリーが持っている特徴です。この4つのブランドを使ってService、奉仕という行為、活動に変えていこうと考えています。そうしないとブランド、ロータリーの特徴は他の人に伝わっていかない。これこそが今RIが考えている中核の価値、戦略的計画のコアです。

4つの特徴を持ったロータリアンが奉仕活動という人が困っている事を一緒に考える活動や言動を通じて、4つのブランドをその人に置いてくる事、心に寄り添って置いてくる事、このことがService、日本語で言う奉仕活動になっていると思います。これをRIがもう一度、世界123万人のロータリアンに「ロータリーの価値とは何か、ロータリーとは何をするクラブなのか、何をする組織なのか」を伝えるべき事であると学んで参りました。

奉仕の定義を再度認めますと、人が人に価値を与える行動や言動です。その人を笑顔にする活動のことをいいます。サービスを提供する人達が笑顔でなければ、サービスを受ける人達は笑顔になりません。我々が笑顔になるには各クラブで親睦活動をすることです。人が人に価値を与える言動や行動をし、それを受けた人が言動や行動に感謝して笑顔になる事がサービスです。その笑顔を作るのがロータリークラブであり、ロータリーは親睦活動が全てです。ロータリー活動は笑顔になること、例会も委員会も楽しくなければダメです。我々は奉仕をしなければいけない。そのために笑顔の共有をしなければいけないと思います。

ここで話を変えて、今年私が提案しました地区の方針について説明したいと思います。第2760地区の方針をBe The Rotarian, Find a Rotarian～真のロータリアンになろう、ロータリアンを見つけよう～にしました。真

のロータリアンとは、ロータリーのブランドを認識して磨きましよう、ということです。そして自ら人道的奉仕活動に参加し、人が笑顔になることを行う。やっぱり人が笑顔になると自分も嬉しい、だから活動も続いていくのだと思います。そしてせっかく仲間たちと行っている奉仕活動を地域の人たちに伝えていきたいと思います。新しいロータリアンに背中を見せて、新しいロータリアンの仲間を見つけて、仲間引っ張り込んでいきたいと思います。これが、Be The Rotarian, そして Find a Rotarian、ということです。RI会長からも今だけのことを考えず、10年後、20年後、その地区にとって持続可能なことを考えて実行して下さいと言われていています。新しいロータリアン、若いロータリアンを勧誘し、退会を防ぐには、過去と現在ではなく将来を見据えてビジョンやあるべき姿を明確にし、ロータリアンでない地域の人々に分かる表現や言葉でロータリーブランドを伝えていくことが必要な事だと思えます。

そんな地区の戦術1つは、My Rotaryに登録し、ロータリーブランドの再確認をする事です。My RotaryはRIの5つのブランドを123万人で共有する道具です。地区の情報をロータリアン同士で共有して、皆で拡げていくためのツールがMy Rotaryです。各クラブのMy Rotary登録率50%、入会3年未満の会員の登録率を100%にしたいと思っています。2つ目は、Club Centralの登録で、Club Centralは各クラブの奉仕活動の計画と実績、会員増強、財団への寄付などを16項目に分けています。こちら他他のクラブがどんな奉仕活動を行い、成果を上げているのか共有できるツールです。My Rotary、Club Centralに登録し、ロータリアンの認知度の向上をしようという事です。最後は、公共イメージの向上です。良い事を行っているブランドを地域の人に伝えていくためにFacebook、ホームページを変えていこうとしています。

最後に、地区の戦略計画をもう一度説明します。3つの項目があります。1つ目は人道的奉仕の重点化と増加。人々が一番笑顔になるところにお金を使っていこうという事です。2つ目はMy Rotary、Club Centralを使ってロータリーのブランドを全会員で共有しようという事。公共イメージの向上は今までテレビ、新聞等のマスメディアを活用してきましたが、ソーシャルメディア(Facebook Twitter等)でロータリーのブランドと奉仕活動の成果をオープンにし、広報につなげていく事。3つ目は各クラブの奉仕活動を増加させる。これが究極の目標です。クラブの奉仕活動の尺度は、奉仕活動に参加するボランティアの人数×奉仕時間を入力する事になっています。奉仕した人数をどれだけ増やしていくのか、そして参加した人達がどれだけ時間をかけるのか。これをするために各クラブで柔軟性を持った例会等を行ってもらえればと思います。詳細はClub centralの中で明確になっています、是非ご確認して下さい。

私の仕事は、本日ホストして頂いた刈谷RC、知立RCの皆さんが笑顔で楽しく価値ある人道的奉仕活動のお手伝いをする事です。是非一緒によろしくお願い致し

ます。本日の卓話ありがとうございました。